

【参考資料5】施策の活用事例

(新技術・新商品開発に取り組む中小企業)

- 日伸工業株式会社(大津市)
- 株式会社永樂屋(彦根市)
- 株式会社テクロム(近江八幡市)
- 株式会社清原(守山市)
- 糰屋吉右衛門(野洲市)
- センカ株式会社(湖南市)
- 東洋化学株式会社(日野町)
- 能勢鋼材株式会社(甲良町)
- HIJ.株式会社(多賀町)

(新事業展開に取り組む中小企業)

- ワボウ電子株式会社(長浜市)
- ガットリベロ株式会社(栗東市)
- 有限会社魚治(高島市)
- 藤居本家(愛荘町)

(働き方改革に取り組む中小企業)

- 長岡産業株式会社(大津市)

(海外展開に取り組む中小企業)

- 株式会社KANSOテクノス(大津市)
- 浜縮緬工業協同組合(長浜市)
- ツジコー株式会社(甲賀市)
- 艸方窯(甲賀市)
- 辻プラスチック株式会社(東近江市)

(地域課題に取り組む中小企業)

- 草津まちづくり株式会社(草津市)
- まいばら駅広域観光交流圏コンソーシアム
- アインズ株式会社(竜王町)
- 油藤商事株式会社(豊郷町)

(スタートアップ企業)

- 株式会社tiwaki(草津市)
- スマイルデザインカンパニー(草津市)

日伸工業株式会社(大津市)

中小企業新技術開発プロジェクト補助金を活用し、難加工材でのラウンドトリムを開発。

【企業情報】

精密プレス部品の製造および組立、精密プレス金型の設計・製作を行う企業(従業員数 国内約480名、資本金9,000万円)

【取組・効果】

- ・自動車部品において、プレス加工で材料を切断する際に生じる「バリ」という金属粉は、重大不良の原因となるため、「バリ」の出ない加工技術「ラウンドトリム®」を開発していた。
- ・しかし、加工する材料に制約があったことから、本補助金を活用し難加工材においても、「バリ」が発生しない「ラウンドトリム®」の技術を開発した。
- ・新たな技術開発にチャレンジし続ける姿勢を評価され、経済産業省から「ものづくり日本大賞」を受賞するなど、研究開発型のものづくり企業として成長を続けている。



ラウンドトリム®製品



ものづくり日本大賞受賞製品

株式会社永樂屋(彦根市)

彦根仏壇の加工技術を活かした商品開発とクラウドファンディング支援

【企業情報】

工部七職(※)による伝統の手作業で仏壇を製作する
企業(従業員数53名、資本金9,828万円)

※木地師(きじし)、塗師(ぬし)、金箔押師(きんぱくおしし)、宮殿師(くうでんし)、彫刻師(ちょうこくし)、蒔絵師(まきえし)、飾金具師(かざりかなぐし)の7種の工程の職人の総称。

【取組・効果】

- ・若手人材を積極的に採用し、技能伝承に努めているが、仏壇需要の減少により、技能伝承に必要な人材を確保しただけでは、技能伝承の課題解決には至らず。
- ・技術伝承のためには、仏壇だけでなく、技能を活かした新商品開発に取り組むことで技能伝承と若手人材活躍の場の創出を検討されており、クラウドファンディング支援事業に応募いただいた。
- ・事業では、新商品を企画し、技能を活かした商品を製作。クラウドファンディングにより資金調達と応援者確保を実施したところ、目標金額を達成し、伝統の技能を活かした新商品開発と技能伝承の機会創出に寄与する取組となった。



開発した新商品「心音」



製作風景

株式会社テクロム（近江八幡市）

中小企業新技術開発プロジェクト補助金を活用し、自動車メーカー向け全自動サンプリングバッグ洗浄装置に取り組む企業。

【企業情報】

理化学機器の設計・開発・製造・販売などを行う企業
(従業員数2名、資本金1,000万円)

【取組・効果】

・自動車メーカーは車内の揮発性有害物質の規制を強めており、有害物質の量を測定するためにサンプリングバッグが用いられる。サンプリングバッグは予め洗浄が必要であるが、これまで手作業で行われ非効率であったため、平成27年度全自動のサンプリングバッグ洗浄装置の開発に取り組んだ。

・従来の手作業に比べ、加熱加湿洗浄法[®]により洗浄時間を1/20程度で同等の洗浄効果を有する洗浄装置を開発した。平成29年に商品化し、これまで8件販売実績がある。滋賀県工業技術センターと共同研究を行い、特許を2件取得した。



開発した洗浄装置



サンプリングバッグ

株式会社清原(守山市)

滋賀の魅力を活用するちいさな企業新事業応援補助金を活用し、オーガニックコットンの高島ちぢみを用いた新商品試作開発。

【企業情報】

「ふくさ」を中心とした繊維生活雑貨の企画製造販売業(従業員18人、資本金12,500千円)

【取組・効果】

- ・補助金を使い、天然染料を用いたオーガニックコットンの「高島ちぢみ」を試織し、その素材で女性の肌をやさしく包む服飾雑貨の試作開発を行った。
- ・自社の「縫製技術力」と「高島ちぢみ」が持つ独特のシボを最大限に活かし、サステナブルで吸水性・速乾性に優れた商品が完成した。
- ・春夏向けの商品として自社オンラインショップ「和奏」で販売を開始。来年度、他社通販や取引先で販売するため準備中。



ストール(ボレロ風)



ワッチキャップ

糀屋吉右衛門(野洲市)

「発酵産業」成長促進化プロジェクト補助金を活用し、発酵過程の映像化などによる発酵への理解度UPと地域活性化。

【企業情報】

糀・味噌・甘酒などの生産販売を行う事業者

【取組・効果】

・味噌・パン・発酵の体験教室の説明内容や糀の発酵過程の映像化、余剰の発酵食品や米ぬかを使った飼料や有機肥料作り、喫茶店とコラボした新しい発酵食品の開発に取り組まれているところ。

・映像により参加者の発酵への理解度向上、学びの推進を図ることができるとともに、「発酵アイスクリーム」の開発により、従来の発酵食品が苦手な人など、新たな販路を開拓。



体験教室



新商品の開発

センカ株式会社(湖南省)

電池産業支援拠点整備事業による技術支援により、リチウムイオン二次電池用材料(電極用バインダー)を開発。

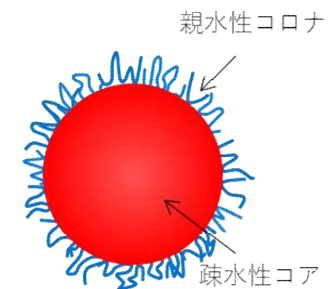
【企業情報】

繊維、紙パルプ、水処理等機能性化学薬品の製造を行う企業(従業員 80人、資本金 1億円)

【取組・効果】

・センカ株式会社の保有技術であるコア-コロナ型微粒子の応用として、リチウムイオン二次電池用材料を検討された。電池産業支援拠点整備事業で整備した測定機器や、専門家(大学教員など)による技術指導、工業技術センターとの共同研究など事業を活用して技術開発を実施した。

・外部資金(NEDO H28年度中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業、H30年度ベンチャー企業等による新エネルギー技術革新支援事業)を獲得し、共同研究を通じて**高性能なバインダーを開発し、特許も取得した**。この技術によりH29年には地域未来牽引企業として選定された。



コア-コロナ型微粒子イメージ



開発したバインダー
およびそれを用いた電池

東洋化学株式会社（日野町）

工業技術総合センターの技術開発室の利用により、新たな自社オリジナル製品を開発。

【企業情報】

医薬品・医療機器・医薬部外品の製造販売などを行う企業（従業員数89名、資本金1,100万円）

【取組・効果】

- ・平成19年から工業技術総合センター内にある技術開発室を利用し、モイストヒーリング（湿潤療法）の絆創膏を開発を行っている。
- ・大手製薬会社やドラッグストアなどが販売する絆創膏の製造を請け負ってきたが、平成24年には技術開発室で行ってきた開発成果を基に、オリジナル製品を販売した。
- ・開発した製品は、経済産業省近畿経済産業局の「関西ものづくり新撰2015」に選定されるなど、高い技術力と独創性を持つ企業として成長している。



能勢鋼材株式会社(甲良町)

滋賀県コロナ対応モノづくり研究開発補助金を活用し、3Dプリンターにてアルミニウム合金を造形する研究開発を支援。

【企業情報】

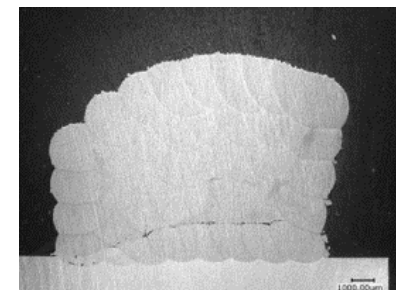
ステンレス材料の販売・加工を行う企業(従業員81人、資本金30,000千円)

【取組・効果】

- ・デジタルツールを活用した製造技術の一つとして、3Dプリンターは大きく注目を集めており、複雑な設計・形状の製品の製造を実現する加工方法として期待されている。
- ・経済的、耐食性に優れるといった特徴を持つアルミニウム合金の造形は事例が少ないため、本補助金を活用し、積層の方法やレーザーの出力など造形の適正条件の調査研究を行った。
- ・研究結果により、造形の適正条件を見出すことができたので、今後3Dプリンターを活用した先進的な製品製造への取組をより進めていく。



3Dプリンター(工業技術総合センター)



造形物断面画像

HIJ.株式会社(多賀町)

しがCO₂ネットゼロみらい賞で、CO₂ネットゼロの推進に関する優れた取組を表彰。

【企業情報】

省エネ製品や環境負荷軽減技術の開発・販売を行う企業
(資本金500万円)

【取組・効果】

・太陽熱とヒートポンプ熱源を組み合わせるとともに、庫内の断熱性・気密性を高めることによって、木材の乾燥に必要なエネルギーの大幅な削減を実現する「サステナブル木材乾燥庫【PARITTO II】」を開発

・CO₂ネットゼロの推進に関する優れた取組として、「令和3年度しがCO₂ネットゼロみらい賞」を受賞したことにより、業界誌において同社の取組が紹介された。



ワボウ電子株式会社(長浜市)

プロフェッショナル人材が新規事業の取組みを支援

【企業情報】

- ・プリント基板設計、電子機器の組立てを行う企業
- ・従業員322名、資本金3,500万円

【取組・効果】

- ・設立以来、電子機器部品の製造を行ってきたが、全体的な業績の落ち込みをカバーすべく、新規事業として「エビの養殖事業」をスタート。
- ・エビの養殖技術は確立できたものの、エビの商品化・販路開拓のノウハウが乏しく大きな課題となっていた。
- ・滋賀県プロフェッショナル人材戦略拠点に相談したところ、販路開拓および商品ブランディングのプロフェッショナル人材(副業)とのマッチングが成立。
- ・プロフェッショナル人材の豊富な知識と卸売業界への人脈が活かされ、商品の販路開拓・ブランド化に成功し、首都圏レストランで提供されるなど、事業拡大につながっている。



ブランド化に成功した「おうみ海老」

ガットリベロ株式会社(栗東市)

プロフェッショナル人材戦略拠点によるマッチングにより、滋賀県発！アウトレット店舗を全国に展開。

【企業情報】

アウトレット商品の買取・販売を行う企業
(従業員150名、資本金1,000万円)

【取組・効果】

- ・日用品や家電等をインターネット販売に限定していたが、消費者と直接対話して商品を提供する重要性に気づき、リアル店舗「222(トリプルツー)」を開業した。
- ・将来的な多店舗展開をにらみ、経営管理を任せられるプロフェッショナル人材を採用したところ、「すべて半額」のキャッチコピーが話題となり、業績が大きく向上した。
- ・本来であれば廃棄されるような商品を販売する「もったいない」の姿勢がSDGsの取組として多くの人々から共感を得ており、神奈川・大阪・京都といった全国11店舗で出店するなど、全国規模で事業が拡大している。



栗東店



プロ人材と店内の様子

有限会社魚治(うおじ)(高島市)

滋賀県市場化ステージ支援事業補助金を活用し、オーベルジュの展開による滋賀県の食文化を発信。

【企業情報】

鮒寿しや湖魚佃煮を製造販売している企業
(従業員11名、資本金1,000万円)

【取組・効果】

- ・平成30年の台風21号による被災を受け全壊した「湖里庵」をオーベルジュ(宿泊施設を備えた飲食店)として再建。
- ・県は令和2年に湖里庵再建に係る経営革新計画を承認し、令和3年、滋賀県市場化ステージ支援事業補助金により、再建した湖里庵の周知にかかる費用を一部補助。
- ・現在、奥琵琶湖の港町海津にて、滋賀県の食文化を体験できるサービスをオーベルジュにより発信している。



再建された湖里庵からの眺望

藤居本家(愛荘町)

中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画を活用し、酒蔵の魅力と滋賀県産食材にこだわった飲食事業による事業再構築。

【企業情報】

「旭日」を代表とする日本酒の製造

【取組・効果】

- ・県内産食材にこだわった料理や自社製造の日本酒を酒蔵内で楽しむことのできる飲食事業を愛荘町商工会の支援のもと計画。
- ・不要となった樽や蓋の木材を再利用することで備品にまでこだわった酒蔵ならではの飲食事業を行う。
- ・県は令和3年度に本計画に関する経営革新計画を承認。同計画の内容に基づき、滋賀県観光施設等魅力向上・感染防止支援事業補助金や小規模事業者持続化補助金等の補助金を活用しながら、飲食スペースのオープンに向けて酒蔵を改築。



長岡産業株式会社(大津市)

滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録制度を活用し、
自社の次世代育成支援や働き方改革を情報発信。

【企業情報】

プラスチック加工販売および各種請負事業
(従業員数90名 男性64名 女性26名)

【取組・効果】

・「幸せと誇りー当社にかかわる人々、お客様、取引先、地域の皆様、そして社員とその家族に対し、幸せと誇りを提供できる会社を目指します」を経営理念に掲げ、ワーク・ライフ・バランスを推進し、社員の子育て支援や生産性の向上などの働き方改革に取り組む。

・滋賀県ワーク・ライフ・バランス推進企業にも登録し、男女かかわらず育児休業制度の取得を促進するなど計画的な働き方改革を進めたことにより、次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定」を令和3年に取得。



株式会社KANSOテクノス(大津市)

水環境ビジネス海外展開事業化モデル事業補助金を活用し、ベトナムでの水環境改善とビジネス展開に取り組む。

【企業情報】

「環境」「土木」「建築」分野を統合した、総合環境エンジニアリング企業(従業員534人、資本金1億円)

【取組・効果】

・ベトナムのハロン湾沿岸水域の水質汚濁を解決するため、水環境改善の技術・ノウハウを現地パートナーを通じて提供し、収益を得る「ノウハウ提供型ビジネスモデル」の実現可能性調査を実施。

・JICA(国際協力機構)の資金スキームの提案書に反映し応募した結果、採択された。

・JICA事業を通して現地政府関係者との関係構築が進んだことから、ハノイに合弁会社を設立。



(ハロン湾沿岸水域)



(JICA事業での研修の様子)

浜縮緬工業協同組合(長浜市)

地場産業組合等海外展開戦略等支援補助金を活用し、和装分野以外の事業の構築と国内外での販路開拓を図る。

【企業情報】

長浜市域で製造される絹織物地場産品「浜ちりめん」の産地組合。組合員は浜ちりめんの製造事業者で構成され、組合敷地内の加工場で浜ちりめんの精練加工を行っている。(従業員数6名、組合員数10社)

【取組・効果】

- ・着物用の白生地を製造する長浜絹織物産地では、和装需要の低下に伴い生産量が減少していることから、既存事業に次ぐ新たな事業の構築が図られている。
- ・そのなかで、産地のもつ技術を活用し、アパレル生地およびアイテムの開発とファクトリーブランド(2M,38S)の創設((有)吉正織物工場)やデニム生地の開発(南久ちりめん(株))、滋賀県東北部工業技術センターとの共同研究で長濱KNITの開発(浜縮緬工業協同組合)等を行い、展示会等に出展。新規取引も成立しており、これらが地場産業を支える第二の柱となるべく取り組んでいる。



開発品

ツジコー株式会社(甲賀市)

県の海外展開チャレンジ支援事業補助金を活用し、タイでの安定した原料調達に取り組む。

【企業情報】

食品原料の生産販売を行う企業(従業員92人、資本金24,000千円)

【取組・効果】

- ・「バタフライピー」(東南アジア原産のマメ科植物)からとれる青い天然着色料は、世界的に例がなく今後市場の拡大が期待される一方、乾燥花の安定確保が困難。
- ・タイの完全無農薬、無化学肥料栽培の有機農園の拡張等を目的とし、現地法人の設立を計画。
- ・補助金を活用し、現地情勢や法制度等の調査を行い、令和4年6月に現地法人を設立。今後は工場稼働を見込んでいる。



(有機農園での花摘み)



(青いチョコレート)

艸方窯(甲賀市)

地場産業事業者販路開拓応援事業を活用し、新しい信楽焼を提案、ヨーロッパでの販路開拓を図る。

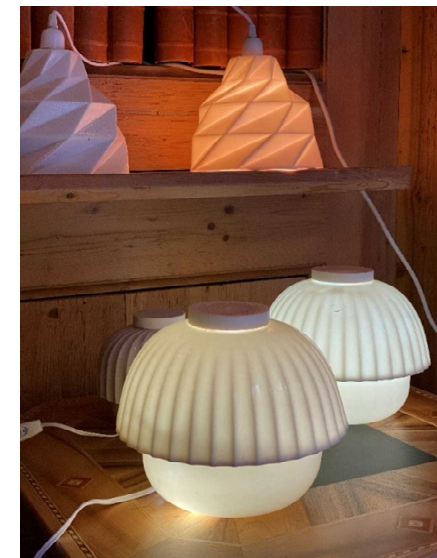
【企業情報】

甲賀市で地場産品「信楽焼」製造する窯元。透ける陶器(信楽透器)のインテリアやエクステリアの製造にも取り組んでいる。(従業員数1名)

【取組・効果】

・技術力や開発力は有している一方で、新規販路開拓手法のノウハウが欠如している海外での新規市場開拓や販路開拓を希望していた艸方窯に対し、ノウハウやデザイン指導力、海外販路開拓指導力をもった事業者を派遣し、商品の開発から販路開拓までの取り組みを指導。

・欧州でのニーズに合わせたテーブルランプやペンダントランプ等を開発、東京インターナショナルギフトショーへの出展や、オーストリアの高級リゾートホテルにおいてテストマーケティングを実施し高評価を得た。



開発したテーブルランプ等

辻プラスチック株式会社（東近江市）

水環境ビジネス海外展開事業化モデル事業補助金を活用し、
小型浄水装置を活用した質の高い飲料水の販売。

【企業情報】

プラスチックの射出成形を行う企業
（従業員31人、資本金10,000千円）

【取組・効果】

・主業はプラスチックの射出成形であるが、水インフラ整備が進んでいないアフリカにビジネスチャンスがあるという経営判断のもと、小型浄水装置を開発。

・特に、セネガルでは飲料水不足が顕著であり、その水質も問題視されていることから、小型浄水装置を活用した質の高い飲料水の販売を計画。

・補助金を活用し、市場調査や実証試験を行い、現地での事業化を目指している。



開発した小型浄水装置



仮オープンの様子

草津まちづくり株式会社（草津市）

県のにぎわいのまちづくり総合支援事業費補助金を活用し、まちなかの賑わい創出に取り組む。

【企業情報】

代表取締役／南 総一郎

事業内容／まちづくりに関する事業推進

企業HP／<https://kusatsu-machizukuri.co.jp>

【取組・効果】

・本陣エリアに位置する観光案内所「くさつ夢本陣」の施設および広場を活用して、地元商店やまちのプレイヤーと共にイベントを定期的に開催した。

・当該エリアでは、中心市街地活性化事業の効果と相乗して、空き家空き店舗などを活用し、焼き菓子専門店やベーカリーショップ、フラワーショップなどの新規開業が続いている。

※新規起業数 目標：1店舗 実績：8店舗



ゆめほんDAY vol.02 ～BOOKCAFE～
古本市、地元大学生による本の展示・しおりづくり、珈琲販売を実施。



ゆめほんDAY vol.05 ～ブックマルシェ～
古本市、こたつ座談会、珈琲販売を実施。

まいばら駅広域観光交流圏コンソーシアム(米原市、彦根市、長浜市、高島市および観光関連団体)

観光周遊機能構築事業を活用し、米原駅を拠点とした広域周遊観光の取組を支援。

【企業情報】

圏域観光情報等の共有とサービスのネットワーク化に取り組むとともに、地域共通の課題でもある二次交通への対策など、周遊環境の充実を図る団体

【取組・効果】

- ・コンソーシアムの設立後、米原駅を起点としたローザンベリー多和田、黒壁エリア、長浜駅を結ぶ周遊促進施策やデジタル観光マップの整備を実施。
- ・令和4年度の取組等も踏まえ、今年度は、JR東海およびJR西日本が令和5年夏に開始する予定のEX-MaaSに向けて、観光コンテンツの造成に取り組まれている。

※EX-MaaS: 新幹線予約と同時に沿線のホテルや旅先での交通手段、観光プランなどをまとめて予約・決済ができるサービス。



周遊バス



PRチラシ

アインズ株式会社(竜王町)

クラウドファンディングを活用した産業振興等に関する協定を締結し、県内事業者の社会的課題解決に向けた取組を支援。

【企業情報】

各種印刷、ホームページ制作、クラウドファンディングなどに関する事業を行う企業(従業員208名、資本金97,234,000円)

【取組・効果】

- ・県、(株)CAMPFIRE、アインズ(株)は、クラウドファンディングの一層の活用を促進し、社会的課題解決型ビジネスの創出等を目的として、2021年2月2日に協定を締結。
- ・クラウドファンディングを活用した取組を促進するため、2021年6月にウェブサイト(びわクラ)を開設した後、複数回のセミナーを開催。加えてプロジェクト希望者に対する事前相談からプロジェクト成立までトータルでのサポートを実施。
- ・これまでに4件のプロジェクトを創出。



ウェブサイト「びわクラ」



創出されたプロジェクト

油藤商事株式会社（豊郷町）

「しがエネルギームーブメント！」で取組事例を動画で配信。

【企業情報】

ガソリンスタンド、バイオディーゼル販売給油所等を運営する企業（従業員16人、資本金5,000万円）

【取組・効果】

- ・地域で回収した廃食油をBDF（バイオディーゼル燃料）に精製し、輸送用燃料などに再利用する取組を展開
- ・廃食油の回収現場やBDFを重機の燃料として使用されている現場の様子を「しがエネルギームーブメント！」で配信。



株式会社tiwaki(草津市)

立命館大学BKCインキュベータへの入居により、県、草津市、
(独)中小機構、立命館大学連携によるスタートアップ支援を実施。

【企業情報】

機械学習・画像認識などAIコア技術の開発を行う企業
(従業員40人、資本金83,000千円)

【取組・効果】

- ・機械学習、画像認識のコア技術を開発し、AI技術・ソリューションを提供するベンチャー企業。
- ・現在創業6年目。(独)中小機構が運営、県、市、大学が連携して支援を行う立命館大学BKCインキュベータに入居し、滋賀県発で、世界的にも認知度が高い画像処理エッジAI企業に成長。
- ・AIコア技術の開発は、産業の高度化(新たな商品、サービス創出、生産性向上、経営改善等)につながることを期待されている。



スマイルデザインカンパニー(草津市)

県の「創業応援隊による起業準備者育成支援事業」を活用し、『しがコレかるた』を企画・製作。滋賀の魅力を伝える活動を実践中。

【企業情報】

- 代表者／松井 栄里
- 事業内容／グラフィックデザイン
- 企業HP／<https://karuta.biz/>

【取組・効果】

・草津SOHOビジネスオフィスで開催されていた起業・創業相談会で、県内の名所旧跡や特産品を題材とした「しがコレかるた」を企画。

・「創業応援隊による起業準備者育成支援事業」内で実施する起業準備応援補助金を活用、産業支援プラザ職員の伴走支援により試作品を開発。

・補助事業期間終了後も伴走支援は継続。商品化のためのクラウドファンディングにも取り組み資金を獲得。1,000個の制作・販売まで辿り着いた。

□「創業応援隊による起業準備者育成支援事業」とは？

起業準備者や起業して間もない立ち上げ段階の方に対し、支援機関による技術的・経営面のトータルサポートおよびテストマーケティングに係る資金面の補助を実施するもの。事業は、県から(公財)滋賀県産業支援プラザへ委託することにより実施した。【事業期間：平成31年度～令和3年度まで】



かるたのイラストは松井さんが描いたもの

